

<お知らせ>邦人旅行者への強盗・傷害事件の発生（注意喚起）

8月28日（木）午後2時頃、サンサルバドル県イロパンゴ市パンアメリカン高速道路路上において、自転車で世界一周旅行をしていた日本人男性（26歳）が武装集団に襲撃され、自転車及びパスポートを含む所持品（約40万円相当）を強奪される事件が発生しました。

1 事件概要

- (1) 被害者は、グアテマラからホンジュラスへ向け上記高速道路を自転車で走行中に、見知らぬ男3名から「何処へ行くのか。パスポートを出せ。」と声をかけられました。これをふりきり更に走行していたところ、男らは仲間を呼び、10名以上で被害者の進路を妨害し、殴る蹴る等の暴行を加え、被害者を自転車から引きずり降ろしました。
- (2) 加害者のうち3名はけん銃を所持しており、被害者は同けん銃で頭部や首を殴られ、他の加害者からも殴る、蹴る、服を破かれる、階段から蹴落とされる等の暴行を受けました。その間、加害者数名は、被害者の自転車を所持品もろとも持ち去りました。
- (3) その後、被害者は隙を突いて逃走し、たまたま停車中の路線バスに飛び乗り、サンサルバドル市街まで逃げ延びたところで警察に助けを求め、保護されました。

2 当館からの連絡事項等

- (1) 当該事件は、未曾有の邦人旅行者に対する強盗・傷害事件です。事件後、被害者は当館の支援を得て、病院に搬送されましたが、幸いにも生命に別状はありませんでした。なお、被害者は靴も強奪されており、高熱の道路を裸足で逃走したため足裏にⅡ度の火傷を負ったほか、胸、背中、首及び腕に痣、足に擦過傷を負い、入院は必要ありませんでしたが、全治2週間との診断がなされました。
- (2) 日本国外務省では、エルサルバドル全土にわたり、渡航情報（危険情報）「十分注意してください」を発出しています。2014年上半期の強盗事件は、2,306件発生し、前年同期比で9.6%減少していますが、いまだ高い水準で発生しています。引き続き、当国で生活する上では、細心の注意が必要ですので、特に以下の点を参考に注意してください。なお、在エルサルバドル日本国大使館ホームページ及び外務省海外安全ホームページに最新の治安情報等を掲載していますので、こちらも参考としてください。
 - ア 不要不急の外出を控え、特に危険とされる地域には立ち入らない。
 - イ 外出する際は、自家用車やラジオタクシーを利用し、路線バス、自転車及び徒歩での外出は代替手段がない限り避ける。

- ウ 外出時は大きな荷物を持たず、カメラや貴重品は人目につかないようにし、華美な服装を避ける（宝飾品等は目的地に到着してからつけることも必要です）。
- エ 万一、強盗に遭遇した場合は、生命を第一に考え抵抗しない（犯人に金品を渡すため慌ててポケットに手を入れる等の急な動作を避け、行動は静かに犯人を刺激しないようにする）。

3 本件発生場所（参考地図）

